

保護者・地域等学校関係者の皆様への教育長メッセージ③ 通常に戻すことの難しさ

市議会での熟議に参加しながら、私は学校を「通常に戻すこと」の難しさについて考えていました。学校は3ヵ月の臨時休校期間を終え、やっと分散登校から通常登校に戻りました。それでも子どもたちの真新しいスニーカーを見るたび、色白でなんとなくおとなしく、大きな声であいさつができない子どもたちの表情を見るたびに今年はいつもの年とは違う様子を感じます。スニーカーを履いて走り回り友達と遊ぶことも、大きな声で話し合うこともできない3ヵ月間の巣ごもり生活だったのでしょう。どうかこれから数ヵ月は子どもたちの心身の状況を掴むため、じっくり子どもたちの様子を見とり、話に耳を傾けることを、学校でも家庭でも実践していこうではありませんか。心身のケアが通常に戻す第一の手立てと考えます。

各学校の校長先生と教育委員会とで話し合い、夏休みの授業日、日課、学校生活について以下のように決めました。夏休みの授業日は、

7/21・22・27・28・29・30・31日

8 /3・4・5・6・7・24・25・26・27・28・31日

合計18日間。原則小学校では、7月中は5時間授業、8月前半4時間授業、8月後半5時間授業。中学校は6時間授業を行う予定です。詳細については、各学校のホームページ、おたより等で確認してください。

コロナウイルスの広がりを抑えるため、3密を避け、エアコンをつけていても、定期的に窓を開けるなど教室内の換気に十分気をつけたいと思います。毎日の検温など健康チェックも続け、消毒についても気を配ります。また夏休みの授業日です。熱中症についても留意したいと思います。扇風機とクーラーを併用したり、水分補給に気をつけたり、登下校の持ち物を減らしたり、日傘・雨傘をさしたり、暑さを凌ぐ工夫をしていきたいと思います。

オンライン教育を念頭に置き、市内の先生方が作成した「授業の手順書」。これを活用し、家庭学習と学校の学習とをつなぎ、効果的に学習を進めたいと思います。さらにスクールカウンセラーや適応指導教室の指導員の力も借り、子どもたちの相談活動の充実が図れるような体制づくりも進めていきます。

「通常に戻す」。「不要なものを割愛しながら正常化する」この最大のピンチをチャンスに変えるためには、通常にあるものを必要なことと不要なことに仕分けを行う決断力と多くの意見を受け止め、無駄な事は断捨離していくリーダーシップが求められています。

紫陽花やタオル片手に歩く児ら

令和2年6月16日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視